

神戸市看護大学 COC 実績報告冊子
第 5+総括号

2018 年 3 月

神戸市看護大学地域連携教育・研究センター

緒 言

神戸市看護大学長 鈴木志津枝

神戸市看護大学は、平成 25 年度に文部科学省の知（地）の拠点整備事業（Center of Community, COC）に採択され、平成 29 年度までの 5 年間、「地域住民と共に学び、共に創るコミュニティケアの拠点づくり」をテーマとして、地域住民の方々や自治体と協働して、神戸市が掲げている保健医療福祉の課題解決に向けて教育・研究・地域貢献活動を行ってきました。この 5 年間に行ってきた主な取り組みは、卒業生全員が地域住民の暮らしを理解することを目指した地域住民との「コラボレーションによる教育」、訪問看護を担う人材育成を目指した「訪問看護の教育強化」、病院から在宅までシームレスなケアを提供できる人材育成を目指した「継続看護の教育強化」、地域ケアシステムの構築を目指した「多職種間連携の充実と組織化」、地域住民のネットワーク構築や地域のリーダーづくりを目指した「地域コミュニティの育成支援」です。

COC 事業の成果として、地域住民の暮らしに対する学生の関心の高まりや学習意欲の向上、地域住民の皆様の健康への関心や意識の向上、神戸市が掲げている保健医療福祉の課題解決に向けての提言、学内の教職員の意識の変化などがありました。本事業の成果の詳細は、本報告書に記載しています。

本事業が順調に進み、成果を上げることができたのは、COC 事業としての 5 年間の取り組みだけでなく、平成 18 年度から平成 20 年度に実施した現代 GP で培ってきた本学と地域との連携・協力体制があったためと考えています。本事業を推進するにあたり、ご協力・ご支援賜りました地域住民の皆様、須磨区長様をはじめ須磨区の行政の皆様にご心より感謝申し上げます。

本学が神戸市に存在する公立大学として、本事業を通して地域の課題を解決するための地域の拠点づくりの一翼を担えたことは、本当に意義深いことと思います。本事業終了後に、すべての事業を継続することは難しいのですが、本学の教育・研究・地域貢献活動にどのような形で継続していくかを検討していきたいと考えています。今後とも、地域の課題解決に貢献していくため、地域住民の方々や行政の方々共に、教職員一同、尽力していきたいと考えていますので、引き続き、ご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後になりましたが、今回刊行しました神戸市看護大学 COC 実績報告書は、最終年度である平成 29 年度の取り組みと 5 年間の成果を中心にまとめています。本学が取り組んできた COC 事業の活動内容や成果をご理解いただくために、是非、この実績報告書に一度お目を通していただき、忌憚のないご批判やご意見をいただければ幸甚に存じます。

神戸市看護大学COCフォーラム 挨拶

文部科学省 高等教育局 大学振興課 大学改革推進室
改革支援第一係長 庄司 祐介



本日ここに、神戸市看護大学COCフォーラム「COC事業5年間の取組みと地域連携教育」が開催されますことを心よりお慶び申し上げますとともに、開催にあたりまして一言御挨拶申し上げます。まず、神戸市看護大学を始め、御来場のCOC・COC+に関わっていらっしゃる関係の皆様の日頃からの御尽力に心から敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。

政府においては、昨年6月に「まち・ひと・しごと創生基本方針2017」を閣議決定し、地方創生のための各取組を加速させていくこととしました。この中で、高等教育の分野について、東京一極集中の是正のため、大学改革や地方大学の振興に取り組むこととされています。COC及びCOC+は、これらの大学改革や地方大学の振興を牽引する事業として、極めて重要であるとともに、関係者の注目度も高く、そのため、文部科学省としても各大学の取組の推進に全力を尽くしているところです。

神戸市看護大学におかれましては、平成25年度に、COCに採択され、神戸市の地（知）の拠点としての役割の強化を進め、地域が求める人材の養成に取り組んでこられました。また、平成27年度からは神戸大学等と連携し、COC+参加校として、地域や大学の特色を踏まえた取組を推進しておられます。具体的には、教育カリキュラム改革として、平成29年度までに地域関連31科目の開設、在宅看護学関連科目の時間数の増加、地域連携の取組として、神戸市須磨区との連携協定締結、「まちの保健室」出前授業等を進めてこられました。これらの取組みには多くの学生や地域住民が受講・参加し、それらの方々から高い評価を得ていると伺っています。

本日のフォーラムでは、これら5年間の成果を踏まえ、多職種連携・地域連携教育のあり方について、議論が行われるものと伺っております。これらの議論の中で、神戸市看護大学が、地域に生きる看護大学として、どのように大学改革に取り組むか、という重要課題の回答のヒントとなる、活発で有意義な御提案・御発言がなされるものと確信しています。

最後になりましたが、本日、この会場にお越しの関係者の皆様の日頃の御尽力に改めて深く敬意を表し、また、神戸市看護大学におけるCOC及びCOC+の更なる取組の充実を通じて、大学を中心とする地方創生が飛躍的に進展することを祈念いたしまして、私からの御挨拶とさせていただきます。

神戸市看護大学 COC 事業と須磨区について

神戸市須磨区長 福本 富夫



須磨区は、神戸市看護大学の COC 事業がスタートした平成 25 年度に、貴大学と連携協力協定を締結し、地域課題の解決に向けて共に取り組んでいくこととしました。

当時、須磨区では、昭和 40 年代頃に開発されたニュータウンの高齢化が急速に進み、将来を見据えた地域包括ケアシステムの構築が喫緊の課題でした。このため、須磨区における COC 事業の活動拠点は、竜が台地域と菅の台地域に決まりました。

対象地域では、地域の方が教育ボランティアとして参加するとともに、学生スタッフによる健康測定会の定期的な開催など、地域と密接な活動に取り組んでられました。参加した地域の方からは、「自分の健康を見直すきっかけとなった」、「地域の交流につながった」等の感想が寄せられています。

さらに、教員の皆様のご尽力により、これまで高齢者支援のため長年開催してきた「多職種連携を考える会」を、より一層進んだ「医療介護連携のための検討会」に発展させる契機を作っていただくとともに、また、震災後から実施している「閉じこもり防止のための健康づくりリーダー支援事業」においても、フレイル予防の効果があることを導き出していました。

本 COC 事業は 5 年間と限られたものではありませんが、「地域と共に学び、共に創るコミュニティケアの取り組み」は、これからが本番です。5 年間の成果を踏まえ、より深化した取り組みを期待しています。さらには、学生の皆さんが、地域の人々の暮らしを豊かな視点でイメージし、地域包括ケアシステムを牽引する多職種のリーダーとして活躍されることを願っております。



文部科学省

地（知）の拠点事業

2017(H29)年度補助金交付概要

総額	24,507,000 円
内訳	
物品費	60,000 円
人件費・謝金	20,665,000 円
旅費	83,000 円
その他	3,699,000 円

＜参考＞	2013(H25)～2017(H29)年度補助金交付(予定)額
2013(H25)年度	18,062,000 円
2014(H26)年度	30,836,000 円
2015(H27)年度	29,257,000 円
2016(H28)年度	29,180,000 円
2017(H29)年度	29,841,000 円

目 次

緒言

学長 鈴木志津枝 . . . iii

神戸市看護大学 COC フォーラム挨拶

ご来賓・文部科学省高等教育局大学改革推進室改革支援第一係長 庄司祐介 . . . iv

ご来賓・神戸市須磨区区长 福本富夫 . . . v

2017 年度補助金交付概要 . . . vi

1 章 2017 年度活動概要

(1)2017 年度 COC 事業関連会議一覧 . . . 3

(2)2017 年度 COC 事業概要図 . . . 4

2 章 2017 年度 COC 事業による「教育」

(1)2017 年度教育実績：コラボ教育 . . . 7

(2)2017 年度教育実績：継続看護・訪問看護教育 . . . 15

(3)2017 年度教育実績：大学院 CNS コース . . . 17

3 章 2017 年度 COC 事業による「研究」：神戸市看護大学 COC 共同研究費研究報告

(1)看護管理職による継続看護の課題解決案の作成

(代表者：石原逸子) . . . 21

(2)強い心理反応や精神症状を有する利用者や家族の対応に困難を感じる

訪問看護師への支援体制の検討

(代表者：安藤幸子) . . . 22

(3)地域診断を反映させた地域活動実践システムの評価と精錬化

(代表者：都筑千景) . . . 23

(4)地域認知症支援ボランティア育成プログラムの長期効果の検証

(代表者：相原洋子) . . . 24

(5)認知症への不安を抱いている本人に役立つ情報の内容・提供方法の検討

～身近な社会資源の創生・活用を目指して～

(代表者：清水昌美) . . . 25

4 章 2017 年度 COC 事業による「地域貢献」

(1)2017 年度市民公開講座

「地域住民が育てる大学生～大学と地域との新しい協働のカタチ～」

1)第1部 報告・リレートークの概要	・・・29
2)参加者アンケート結果報告	・・・40
(2)神戸市看護大学まちの保健室出前講座の実施	
1)もの忘れ看護相談	・・・42
2)健康支援	・・・43
3)こころと身体の看護相談	・・・43
4)その他の地域貢献活動	・・・44
5章 2017年度COC事業による活動の「評価」	
(1)2017年度COC事業についての評価部門による概要	・・・47
(2)2017年度COC事業についての学生による評価	・・・48
(3)2017年度COC事業についての教員による評価	・・・55
(4)2017年度COC事業についての地域住民による評価	・・・60
(5)2017年度COC事業についての外部評価委員による評価	・・・65
6章 2017年度COC+事業	
(1)3大学合同報告会「プラットフォーム」	・・・69
(2)COC+就職説明会	・・・73
7章 2017年度COC事業広報関連資料など	
(1)COC事業ニュースレター2017年秋号	・・・77
(2)COC事業ニュースレター2018年春・最終号	・・・81
終章 総括	
(1)総括	・・・87
(2)COC事業5年間の歩み	・・・88
(3)2014～2017年度 コラボ教育のまとめと評価	・・・90
(4)2014～2017年度 COC 共同研究助成による研究成果発表・業績一覧	・・・96
(5)2017年度COCフォーラム「COC事業5年間の取組みと地域連携教育」	
1)基調講演・パネルディスカッションの概要	・・・102
2)参加者アンケート結果報告	・・・110
(6)卒業生を対象として地域連携教育に関する調査と評価	・・・112
(7)COC事業最終評価	・・・116
(8)COC事業関連出版物印刷物リスト	・・・127